



さあ、いっぱい遊ぼう、 いっぱい楽しもう

学 園 長 小 島 澄 人

さあ、新学期の始まりです。いろんな準備を、ワクワクしながらしてきた先生。どんなところかな、と不安と期待で待っていた子どもたち。我が子を送り出す保護者。いよいよスタートです。

100人ほどこじんまりしたスタート、全国的に保育園も定員割れ、幼稚園は廃園もあちこちで見られるようになりました。そんな中たくさん子どもたちと過ごすことに感謝、そして熱いものが湧いて来ます。

園庭の遊具も見直しました。保育室も「預かり専用の部屋を2部屋」、課外用の部屋も設けました。危ないところがないか、古くなったところはないか、照明もほとんどがLEDに変わりました。5月の連休には園庭の安全ゾーンをリニューアルしますが、大切なのは職員の考え方です。

40年ほど前に、川崎市の子どもの土踏まずの形成度を調べました。偏平足の子どもたちが多くなり、けがの多くが顔、特に口、あごでした。手のひらのかすりきず、膝の擦り傷をはるかにこえていました。40年前でした。危機感を感じ、川崎市の幼稚園で「思いっきり遊ぶ時間を子どもたちに」を提唱したことを思い出しました。私もここ42年間、遊びを中心に幼児教育をとらえて、思い出作りも大切に行事も楽しくしてきました。遊び、遊ぶ、遊んでいる、遊びました、そんなフレーズを先生たちの保育日誌に見けると喜んでいました。ところが、今では遊具がない部屋の中、園庭で、ケガの数が増えてきました。自分が転ぶ、友だち同士でぶつかる、本当に「安全」を保つのも、大変なことです。大変な時期になりました。大切な子どもたちを預かる、またいっぱい遊ぶ、子どもたちが楽しく遊ぶ、ケガもあるかもしれない、けど精一杯遊びながらもしっかりした対応を致します。ご理解、よろしくお願いいたします。ケガがない。ケガをなくしたい、そんな思いを強く持っていますが、ケガも起きます。ケガを少なく、けどケガを恐れるあまり、子どもたちから「大切な遊びの時間」を奪いたくない、それが本音です。

学園グループには、3つの幼稚園、16の保育園、1つの児童発達支援施設、1つのママカフェ、また多摩プラのちびっこ安心館、があります。かきのみ自然探検村、夢の森自然探検村、玉川中央の小鳥の森広場、また恩回し農園、三輪農園、寺家農園、小野路農園、稲城農園、ママカフェ農園があります。勿論、幼稚園の周りにはたくさんの農園、果樹園、駐車場、それに教職員の社宅が5棟に、6戸の家があります。またこの3月に近所に「岡部農園」が加わりました。近くの方の協力に感謝です。

子どもたちが野原で遊びまわり、木陰で憩い、部屋で安らぐ、そして畑で育ちを垣間見る、子どもたちはのびのびと幼稚園生活を楽しむ、そうあってほしい。

さあ、スタートです。新しい担任、新しい友だち、新しい保護者の皆さん、よろしくお願いいたします。

